

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己評価	外部評価	タイトル	小項目			
<b>理念に基づく運営</b>						
<b>1. 理念の共有</b>						
1	1	地域密着型サービスとしての理念	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中で安心して生活を営む事が出来るよう法人独自の理念を掲げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み	管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員全員が法人の理念を共有し、日々のケアの中で実践するよう心掛けている。		
3		家族や地域への理念の浸透	事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	ホームの目に付くところに掲示したり、折に触れ家族や地域の人々にわかりやすく説明している。		
<b>2. 地域との支えあい</b>						
4		隣近所とのつきあい	管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩や買い物などの外出の時の挨拶をはじめ散歩の傍らの公園のゴミ拾いでも近隣の方がたに声を掛けて頂いている。		
5	3	地域とのつきあい	事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	毎年の夏祭りには地域の方々がたくさん参加して下さる他、自治会行事のゴミゼロ運動にも継続的に参加し、交流を図っている。		
6		事業所の力を活かした地域貢献	利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	中学校での職場紹介の講演や体験授業の受け入れ、介護教室の開催等も行っている。又、夏祭り、餅つき大会、県民の日の中学生との交流会は継続して行っている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>						
7	4	評価の意義の理解と活用	運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	意義を理解し、日常のケアを見直し、改善する機会として捉えている。		
8	5	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議での意見を取り入れ、日々の実践に役立っている他、認知症を理解して頂く為に認知症サポート100万人キャンペーンの講演を開催し、地域の方々にも協力を頂きサービス向上に努めている。		
9	6	市町村との連携	事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	村の介護保険運営委員として、又、村社協の評議員として連系をとっている。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	外部での研修に参加し、得たものを内部研修や自主勉強会で報告学習し、必要時に役立てるようにしている。		

【千葉県】グループホームホーム だるまさん

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己評価	外部評価	タイトル	小項目			
11		虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	千葉県高齢者権利擁護・拘束廃止研修を受講し、施設内でも研修を行い防止に努めている。		
4. 理念を実践するための体制						
12		契約に関する説明と納得	契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約前に面談をし、契約時は契約書、重要事項等、口頭でも説明し理解、納得して頂いている。		
13		運営に関する利用者意見の反映	利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日々のコミュニケーションを通し何でも言える関係、雰囲気作りを大切にしている 又、リビングや他の利用者の前で言えない事はスタッフステーション迄、出向いて愚痴や相談をして下さる現状を大切にしている。		
14	7	家族等への報告	事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月の担当者からの手紙、家族会、ご家族の来所時の他、必要時は電話でも相談、報告をしている。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映	家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情受付の窓口を設置している他、玄関にも意見箱を用意している。来所持も話を伺えるよう、普段のコミュニケーションを大切にしている。		
16		運営に関する職員意見の反映	運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のカンファレンスやGH会議にオブザーバーとして施設長も参加している他、年2回の施設長との面談や必要時はその都度相談をし運営に反映させている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整	利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	職員の希望休を考慮しているが、必要な時間帯の職員の確保が優先であり、勤務の調整はできている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮	運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をし	必要に応じて移動もあるが利用者、職員ともいつも行き来をしている為、全職員と馴染みの関係ができています。		
5. 人材の育成と支援						
19	10	職員を育てる取り組み	運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修に参加する機会が多く与えられており、内部研修、自主勉強会も毎月開催し、職員もスキルアップに努めている		
20	11	同業者との交流を通じた向上	運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	GH連絡会へ参加し、他のGH職員との交流や他施設と互いに見学をし合い意見の交換をするように心掛けている。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み	運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員間での親睦会や何でも話せる休憩室が用意されている。		

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己評価	外部評価	タイトル	小項目			
22		向上心を持って働き続けるための取り組み	運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	業務日誌の他、口頭でも毎日申し送りをしているので現場の把握ができています。また、年2回の施設長との面談でも実績の評価やアドバイスを受けています。		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>						
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>						
23		初期に築く本人との信頼関係	相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご本人の思いを傾聴し、受容する姿勢で徐々に信頼関係が築いていけるように努めている。また、ご家族にも協力して頂きアセスメントも取っている。		
24		初期に築く家族との信頼関係	相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	信頼して頂けるよう、ご家族の思いを傾聴し受け止めるように努めている。又ご家族にもGH、職員を知って頂くよう心掛けている。		
25		初期対応の見極めと支援	相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人、ご家族の必要な事、希望を聞き、併設のデイサービス、居宅支援事業所等にも相談し、ショート・ステイを利用して頂く等できる限りの支援をしている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用	本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご本人にも見学をして頂き、体験入所も利用して頂く等、本人に合ったペースで馴染みになって頂けるよう努めている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>						
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	料理の下拵えから、日々の生活で利用者にも教えてもらう事も多く、時には家族以上の信頼関係も生まれ一緒に生活を実感している。		
28		本人を共に支えあう関係	家族との職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	全家族が家族会のメンバーであり、イベントなどに協力して頂いているほか、利用者にとって最も良いケアができるよう常にコミュニケーションを取り合っている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援	これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	月に一度の担当者からの手紙の他、電話や来所時に利用者の思い等お知らせし、より良い関係の継続の支援をしている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	長年生活していた所と一緒に訪ね、馴染みのお店を利用したり、家族、知人との関係を大切に思い支援している。		
31		利用者同士の関係の支援	利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	自分の意見、思いをはっきり言えるような関係でありながら、時には相手を思いやり、手助けもし合うような関係作りを目指して、支援をしている。		

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己評価	外部評価	タイトル	小項目			
32		関係を断ち切らない取り組み	サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	必要に応じた関係作りを心掛けている。3年前に亡くなられた家族の方から、今でも手紙を頂いている。		
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
<b>1. 一人ひとりの把握</b>						
33	14	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式のアセスメント様式を取り入れ、一人ひとりの思いや希望に添えるように努めている。		
34		これまでの暮らしの把握	一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式のアセスメント様式を取り入れ、一人ひとりの生活歴や背景の把握に努めている。		
35		暮らしの現状の把握	一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一人ひとりの気力、体力の把握に努め、日々の変化も見落とさないように努めている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>						
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	センター方式のアセスメント様式を取り入れ、カンファや日常でも話し合い、御家族の意見、希望も取り入れ、本人が今をより良く暮らす為の介護計画になるように努めている。	○	ご家族にも協力をお願いし、アセスメントの作成をしている。
37	16	現状に即した介護計画の見直し	介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月毎に見直している他、状態に変化等があった場合は現状に即した計画にしている。		
38		個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や変化を個別に介護経過、温度表に記録し、情報の共有をし実践にも役だてている。	○	個別記録とは別に、職員は申し送りノートで細かな情報の共有をしている。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>						
39	17	事業所の多機能性を活かした支援	本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	併設のデイサービスでのイベントを楽しみ活性化に役立っている。又、デイサービスの看護師に相談し、体調の変化にも配慮している。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>						
40		地域資源との協働	本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティアの方々や警察、消防など地域の多くの方に協力を得ている。又、村の文化・教育機関にはイベントへの招待、図書室の利用など協力を得ている。		
41		他のサービスの活用支援	本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人、家族の意向により整骨医による訪問リハビリを利用している。希望があれば併設のデイサービスの協力も得られる。		

【千葉県】グループホームホーム だるまさん

項目番号	項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己 評価	外部 評価	タイトル	小項目		
42		地域包括支援センターとの協働	本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現在までに必要とする事例が無かったが、今後必要に応じて協働させて頂く。	
43	18	かかりつけ医の受診支援	本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族と連絡を密にし、馴染みのかかりつけ医との関係を大切にしているが、必要時は受診の支援もしている。	
44		認知症の専門医等の受診支援	専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	受診の際ご家族と一緒に立ち合わせて頂き、医師と馴染みの関係を築き、相談をしている。	
45		看護職との協働	利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	併設のデイサービスの看護師と24時間連絡が取れ、気楽に相談、指導をしてもらい指示も仰いでいる。	
46		早期退院に向けた医療機関との協働	利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連	直接病院に出向き早期退院に向けて十分に相談している。	
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有	重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族と一緒にかかりつけ医より、重度化して行く過程の説明を受け、終末期の対応の仕方について助言、受け入れ先の病院の紹介等相談に乗ってもらい全員に周知している。	
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援	重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	かかりつけ医より助言を得ながら、個別検討をし、何が利用者にとって良い事か、私達に何ができるのか、どこまでができるのかなのか、情報を共有し準備に努めている。	
49		住み替え時の協働によるダメージの防止	本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐこと	本人、家族と話し合い、本人の混乱ができるだけ少なくすむよう支援している。	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	プライバシーの確保の徹底	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の前での職員の申し送りや、日常のケアでも配慮している。	
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援	本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人の訴えや希望を傾聴し、入浴の順番なども本人が他の利用者との折り合いを付け納得して決めるような支援をしている。	
52	21	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの体調やペースを大切に、起床時間、食事時間、散歩なども本人の希望に添った支援を心掛けている。	
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					

【千葉県】グループホームホーム だるまさん

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己評価	外部評価	タイトル	小項目			
53		身だしなみやおしゃれの支援	その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	一人ひとりの好みに添った買い物の支援や、希望によりカラーリング等の支援もしている。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立の相談、買い物、準備、料理、後かたづけを利用者と職員と一緒にできるように検討し、徐々に実施できるようになっている。	○	一緒に買い物に出掛けその場で季節の物、食べたい物を選ぶ等臨機応変に対応できている。
55		本人の嗜好の支援	本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	希望時に希望に添った支援をしている。		
56		気持ちよい排泄の支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	アセスメントから一人ひとりの排泄パターンを把握し、プライバシーを尊重した声掛け、誘導を心掛けている。		
57	23	入浴を楽しむことができる支援	曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	本人の希望を取り入れ、本人のペースで気持ちよくゆっくりと入浴できるような支援を心掛けている。		
58		安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	日々の散歩や体操で大まかな生活パターンは出来ているものの、一人ひとりのペースや希望に添って、起床時間、食事時間等も臨機応変に対応している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援						
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	買い物や洗濯、炊事、掃除などの家事でもそれぞれ得意な分野で活躍をされている。		
60		お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人の希望や力量に応じ、また、家族の意向も汲み個別に支援している。買い物は個別に支援している。		
61	25	日常的な外出支援	事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩、買い物、外食、ドライブを兼ね外出先でお茶を楽しむ、又庭や畑で外気に触れる等一人ひとりの希望に添った支援を心掛けている。		
62		普段行けない場所への外出支援	一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	長年住んでいた地域やよく利用したお店でおしゃべりや、買い物をしたりお墓参りなどの支援もしている。		
63		電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	日常的に、ご家族、お友達に電話をしたり、手紙やグリーティングカードを贈るなどなど希望に添った支援をしている。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援	家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族、友人、自宅のご近所の方など気軽に遊びに来て頂いている。ご家族の宿泊も自由に利用して頂いている為、毎月のように泊まりに来て下さるご家族もいる。		

【千葉県】グループホームホーム だるまさん

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己評価	外部評価	タイトル	小項目			
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>						
65		身体拘束をしないケアの実践	運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関する研修を受け、内部研修でも確認をし、身体的、精神的苦痛を理解し、拘束の無いケアを行っている。		
66	26	鍵をかけないケアの実践	運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵を掛ける事の弊害を理解しており、日中は鍵を掛けていない。階段にセンサーを設置し、無断での外出に対応している。	○	無断外出時のマニュアルを作成し、行方不明者の出た場合の対応を周知している
67		利用者の安全確認	職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員は一人ひとりのプライバシーに配慮しながら、利用者の所在や様子を把握し、情報を共有してさりげない支援を心掛けている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理	注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	一人ひとりの状態や状況に応じて、個別に支援している。共有部分では危険な物品は、鍵の掛かる場所に保管している、又危険な物品の管理は使用した職員が責任を持って行っている。		
69		事故防止のための取り組み	転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	身体機能に合わせた支援をしている。火災訓練は定期的に行っている		
70		急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急時のマニュアルを整備し、職員が対応できるよう周知している。職員は全員普通救命講習1を終了している。		
71	27	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回、避難訓練を実施し、消防署の指導も受けている。夜間想定避難訓練も実施している。		
72		リスク対応に関する家族等との話し合い	一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	ご家族とのコミュニケーションを大切に、現状の報告をし、リスクを理解していただいたうえで、できるだけ自由な生活を心掛けている。		
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>						
73		体調変化の早期発見と対応	一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日、定時にバイタルチェックをする他、常に一人ひとりの身体状況に気を配り、できるだけ早く異変に気付くよう努めている、又、異変時は看護師と連携を取り受診に繋げている。		
74		服薬支援	職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方通りの服薬支援ができるよう、服薬管理票を作成し、職員は一人ひとりの処方薬を常に確認し、把握するよう努めている。		
75		便秘の予防と対応	職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	一人ひとりの排泄パターン、状況を把握し、ご利用者によっては起床時に冷たい牛乳を摂る、繊維質の摂取、水分補給、運動等の支援をしている。		

【千葉県】グループホームホーム だるまさん

項目番号	項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己評価	外部評価	タイトル	小項目		
76		口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	食膳のうがい、食後の口腔ケアに取り組んでいる。	
77	28	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	それぞれの身体状況、好みを把握し、食べ易いよう工夫している。又、食事量をチェックし、不足は代替品(好みの物)で対応するなど、体重の変化にも気を付けている。	
78		感染症予防	感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	来訪者の消毒、職員、利用者の嗽、手洗いの励行、床や手すりの清潔を心掛け、感染予防マニュアルも整備している。	
79		食材の管理	食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理品、布巾等は常に消毒、殺菌をし衛生管理に努め、食材の管理なども担当スタッフが責任を持って行っている。	
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		安心して出入りできる玄関まわりの工夫	利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	手作りの表札を掲げている。草花のプランターや椅子で親しみやすいように工夫している。	
81	29	居心地のよい共用空間づくり	共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間は不快な音や臭いが無いように配慮し、カーテンで光の調節も行っている。周囲の自然で季節感も十分味わえている。	
82		共用空間における一人ひとりの居場所づくり	共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下の南側にソファを置き気の合った仲間であそんでいる。ベンチ、椅子も所々にあり思い思いに利用している。	
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮	居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家具や持ち物は本人、家族の使い慣れた物や好みの物でそろえ、落ち着ける環境を作っている。	
84		換気・空調の配慮	気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	随時換気を行い、必要に応じて空調での対応も行っている。	
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	環境設備をし危険因子を無くすよう努めている又、手すり等も整備されており自立に役立っている。	
86		わかる力を活かした環境づくり	一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	職員は認知症の理解に努め、得意なことで力を発揮して頂き、失敗をしないように心掛けている。	
87		建物の外周りや空間の活用	建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	家庭菜園ではいつも何らかの収穫ができるように野菜の栽培をしており、楽しみとなっている。ベランダの散歩や苗物の栽培も生活の一部になっている。	

【千葉県】グループホームホーム だるまさん  
 (様式1) 自己評価票

項目番号		項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
自己評価	外部評価	タイトル	
サービスの成果に関する項目			
88		職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89		利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90		利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91		利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92		利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者がころへ出かけている 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93		利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94		利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95		職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどいない
96		通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

【千葉県】グループホームホーム たるまさん

項目番号		項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
自己 評価	外部 評価	タイトル	
97		運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input checked="" type="checkbox"/> 大いに増えている <input checked="" type="checkbox"/> 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> あまり増えていない <input type="checkbox"/> 全くいない
98		職員は、生き活きと働けている	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ほとんどいない
99		職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ほとんどいない
100		職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ほとんどできていない